CASE 04｜見通し・活動の切り替え・お片付け

遊びのおしまい・お片付け・次の活動へ切り替えられない

一方的な指示をやめ、「視覚タイマー」と「2択スイッチ」で納得して切り替える力を育てます



お子さまにこんな「困りごと・サイン」はありませんか？

- 「お片付けだよ」「帰るよ」と声をかけると激しく拒否して泣き出す
- 予定が急に変わったり初めての活動になると、不安で立ち尽くす
- 好きな玩具を握りしめたまま、次の活動や移動に移れず時間がかかる

DEVELOPMENTAL SCIENCE｜発達科学からの視点
耳からの言葉は消えるため「目で見える見通し」が必要です

突然「終わりだよ」と言われると「楽しみを急に奪われた！」「次に何をされるか分からない」と強い不安を感じます。残り時間と予定を視覚化し、本人に選ぶ権利を渡すと動けます。

切り替え場面の様子に合わせた「2つの支援ルート」

一人ひとりのペースに合わせて段階的に進めます

■ A:「片付けなさい」で反発・イヤイヤになる時
一方的な指示をやめ、『赤い箱と青い箱どっちから入れる？』『あと1回と2回どっち？』と本人が決める2択スイッチで納得感を作ります。

■ B:大切な玩具を手放すのが悲しくて泣く時
お気に入り玩具を置く『おやすみボックス(特等席)』を用意し、「おやつを食べたらまた会えるよ」と見通しを保証して安心させます。

▼ どちらのタイプも、以下の「4ステップ療育サイクル」で無理なく力を伸ばします ▼

01 つまずき



見通し不安と急な終了
終わりと次の予定が見えないまま急かされ、脳がフリーズしています。

02 予定提示



絵カードで予定可視化
登所時に「①あそぶ→②かたづけ→③おやつ」を絵カードで示します。

03 事前予告



タイマーと2択決定
赤い残量タイマーで5分前に予告し、「どっちの箱に入れる？」と促します。

04 育つ姿



納得して自分で切替
タイマーの合図で気持ちよく片付けられ、園や家庭での移動もスムーズに。



実践① 写真・絵カードのスケジュール化
「今と次の予定」が一目でわかる教室
活動ごとに絵カードを確認し、終わったカードを自分で「おしまいポケット」へ入れるルーティンで主体的に動く力を育てます。



実践② 自己決定を取り入れた片付け遊び
「どっちから？」で片付けを達成感へ
写真ラベル付きの収納を使い、お子さま自身が選ぶことで「やらされる片付け」から「自分で決めて達成する片付け」へ変えます。

◆ おうち・園でできる「1分関わりヒント」

お風呂や出発を促す時は「早くしなさい！」ではなく、『うさぎさんジャンプで行く？ペンギンさん歩きで行く？』と2択の質問に変えると、自分で選んだ瞬間に動けます。

◆ ご家庭・保育園・幼稚園と連携する「2つの通い方」

①【1日コース】10:00～16:00(温かい昼食・お昼寝対応)
②【園送迎並行コース】保育園・幼稚園へのお迎え送迎対応(片道30分圏内)。

ご相談窓口(平日 10:00～16:00)
058-372-6123
受給者証の申請前でもご相談可

所在地 〒504-0966 各務原市那加本町36 マナベビル3F(JR那加駅 徒歩2分)
対象 2歳～未就学児(小学校入学前)｜送迎・昼食 あり｜4言語 日・英・葡・西
メール contact@ibirite.info ｜ Web ibirite.info/児童発達支援/

LINE相談